



To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU, OSAKA, JAPAN

2021年4月
No. **467**
Chartered
July 20, 1982

主題 Y's THEME (2020~21)

- センテニアルクラブ会長 『共に考え、共に歩む、まずは地固め』
国際会長 『命の川を信じよう』
アジア太平洋地域会長 『変化をもたらそう』
西日本区理事 『Let's do it now!』
中西部部長 『ワイズの力を信じて、自ら行動しよう』

クラブ役員 Officers

- 会長 中村 茂高
副会長 三浦 直之
書記 大村 肇
ドライバー 大村 肇
会計 岡本 剛介
メネット担当 坂本 千春
YMCA連絡職員 長尾 聡

Biblical Message of April

私たちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

(ローマの信徒への手紙 第5章3~4節)

一隅を照らす

中村 茂高

これは最澄の言葉。そして、アフガンで用水路建設や医療活動に従事し銃撃された中村哲医師(73)の座右の銘である。元朝日の記者で、「湖国と文化」を編集する友人が送ってくれた春号は、「最澄、没後1200年」。その中で、比叡山で行われる厳しい修行の一端が紹介されていた。五体没地の礼拝を1日3千、無期限に行う。不眠不休不臥。やがて幻覚・幻聴・幻臭がくる。しんと雪が降る真冬は指先が麻痺し体の感覚がなくなる。しかし意識はいつそう研ぎ澄まされる。ある時、突然周りがきらきらと輝き、体中に喜びがあふれ、宇宙と自己が一体化し、それは数日続く。それを満行という。ある僧侶は3年かかった。最澄が苦行の末、極めた『一隅を照らす』。中村医師は、娘には「自分にできることをしんしゃい。やれんことはやれんたい」と励まし、看護師には「どうせ、せないかん」となだめ、支援者の仲間には「目の前のことをやりしんしゃい」と諭した。言い回しが違うけれど、意味はみな同じ。



April Club Meeting 『YMCAサービス/ASF』

4月第1例会 (Web併用)

日 時: 2021年4月10日(土) 14:00~16:00
場 所: 大阪YMCA会館10F101号室チャペル
司 会: 大村 肇 君

1. 開会 中村 茂高 会長
2. ワイズソング 一同(ウクレレ)
3. 聖句朗読 大村 肇 君
4. ゲスト・ビジター紹介 中村 茂高 会長
5. 強調月間 三浦 直之 君
6. 卓話「グローバル時代の高等教育」
瀬戸内グローバルアカデミー代表
長尾 ひろみさん
7. 連絡・報告・ニュース 各メンバーから
8. お誕生日祝い 一同
9. 閉会 中村 茂高 会長
10. ハワイアロハ 一同

お誕生日
隅田メネット

4月第2例会 (web)

日時: 2021年4月28日(水) 19:30~20:30
ZOOMによるweb会議です。

3月		種別	第1例会(web併用)	第2例会(web)	BFポイント	ニコニコ献金	
在籍会員	18名	メン	12名	7名	3月	0g	3月 15,000円
例会出席	13名	メネット	4名	1名	現 金	0円	
うちメーキャップ	1名	ビジター	名	0名	累 計		
出席率	72.2%	ゲスト	4名	0名	切 手	204g	累 計: 86,950円
		合計	20名	8名	現 金	0円	

今月の聖句

今やコロナは、全国さらに世界を席卷しています。なぜ今、この苦難を神様は与えるのでしょうか。私たちがこの苦難に、全てのひとと力を合わせて向き合っていることは事実です。それは忍耐が求められます。感染症の危機感、経済的な大損失と生活の不安が渦巻く中、あらゆる活動に制限がかかります。危機の中にあつて、お互いを気遣いながら同じ苦難と向き合い、乗り越えるための協力と助け合いが必要であることを神様は教えてくれています。

(聖句選/コメント:大村 肇)

3月第1例会

3月14日、春の陽気がただよوناか、3月例会が大阪YMCA会館で開催された。ゲストを含め17名が会場に赴き、3名がオンラインで参加した。まず藤井孝三さんの入会式が、中村茂高会長の進行で行われた。藤井さんは高い音楽技術をもち、ベースを得意とする。芝田さんとのコンビで、ますます音楽によるクラブへの貢献が期待される。

次に、元毎日新聞記者の藤田昭彦さんが、「真相は隠される—メディア・リテラシーで究明を」というテーマで話をした。

藤田さんは、元首相が国会答弁で118回ウソをついたということに例をあげ、政治家は真実を語らないと断定。また「9.11米国同時多発テロ」では、2001年9月11日、米国で旅客機4機がハイジャックされ建物に激突または墜落した。米当局は「アルカイダ」の犯行と発表。ウサマ・ビンラディン指導者も犯行声明を出し、米に殺害された。しかし氏はつじつまの合わない現場検証を解明し、これはアルカイダを利用しながら、米国の軍需産業を守るための国家的陰謀ではないかと結論づける。

藤田さんはさまざまな事件を例に挙げながら、メディアの情報を鵜呑みにするのではなく、出版物の情報などで自分自身の判断力をしっかりもつことの大切さを訴えた。私たちは、とても興味ある話題に、時間も忘れ聴き入った。



淡々と語る言葉に冷静な判断と鋭い観察力を感じさせる藤田さん

3月第2例会 (WEB会議)

とき:2021年3月24日(水)19:30~21:30

出席:石津、大村、坂本哲、芝田、谷川、中村隆、中村茂、山中秀、山中ち 計9名

【検討事項】

*来期事業計画/運営案

●7月18日(日)中西部部長公式訪問。5月16日(日)「キックオフミーティング」で検討するが、原則、

【第1例会】1.会食なし 2.会場は大阪YMCA会館利用
3.開催日は第3土か日曜日 4.オンライン併用

【第2例会】引き続き、オンライン(ZOOM)で開催。

●会長、主査研修会などの負担金を、これまでは担当者が個人負担をしていたが、本会計から支出する。

●実情にあった会則の見直し

【報告事項】

●ミャンマーの厳しい状況報告が谷川、中村隆メンからあった。4月3日祈祷会が開催される予定。



YMCAニュース

☆第330回早天祈祷会☆

日時…2021年4月16日(金)7:30~8:15

※朝食会は実施しません。

奨励…原田 佳城 牧師

(日本聖公会大阪聖パウロ教会)

場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

(長尾 聡 TEL: 06-6441-0894)



清水 EMC 事業主査も駆けつけがっちり握手

GOING GLOBAL



信教の自由 ～日本、仏の事例～ (要約)

国より異なる概念を追って

谷川 寛

先月号で日本の「政教分離」の概念が、米国とは全く異なることに触れたが、2月25日の日経新聞では、沖縄・那覇市の「孔子廟」のために、市が土地を無償で使わせているのは憲法の「政教分離の原則」に反するのかどうか裁判の結果が報じられた。

フランスでは、政治とカトリックが密接に結びついた歴史が長く続いた。1905年にライシテ法が成立。これは強大な力をもつカトリック教会から政治を切り離すためのもので、長い宗教対立から戦争を繰り返してきた歴史を踏まえ、今日では「公」と「私」を厳格に峻別。ところが現在ではカトリック信者が大幅に減少し、代わってイスラムが台頭してきている。2016年時点では仏全体の9%の570万人との推計があり、2020年は不協和音が取りざたされた。9月、風刺週刊誌シャルリエブドがイスラム教の預言者ムハンマドの風刺画掲載したことで、マクロン大統領が「フランスでは宗教も冒すことができる」などと擁護。これに国内のイスラム教徒から批判の声が上がり、相次ぐテロを引き起こす要因となった。

マクロン大統領は、2017年就任以来、イスラム教との衝突を避けてきたが、保守派の批判を受け、イスラム過激思想を取り締まる法案対策に乗り出している。

しかしマクロン政権の批判は、国外に飛び火し、インドネシアでは、昨年11月、首都ジャカルタのフランス大使館前で大規模デモが起きた。仏製品の不買運動が起こり、批判はトルコにまで及んだ。トルコ・メディアは連日のようにイスラム教徒への差別問題を取り上げ、反仏感情は高まった。仏・トルコの関係悪化が懸念される中、信教の自由をめぐる対立や分断は、簡単には解決の糸口がみつからず、今後も続きそうだ。



Club Activities

March, 2021

● March meeting report

On a warm spring day of March 14th, the March meeting was held at the Osaka YMCA Hall. 17 members including guests attended the venue and 3 members participated online. First event was Mr. Kozo Fujii's enrollment ceremony. It was presided by our Club President, Mr. Nakamura. Mr. Fujii has strong skill in music and is good at playing bass. It is expected that the synergy effect of Mr. Fujii and Mr. Shibata will create a great contribution to the club in musical aspect.

Next, a former Mainichi Shimbun (Newspaper) reporter, Mr. Akihiko Fujita spoke on the theme of "The truth is hidden. Investigate with media literacy."

Mr. Fujita says that politicians do not tell the truth, citing the fact that former Prime Minister Abe lied 118 times in responding to questions in the Diet. In the attacks of 9/11, four planes were hijacked in the United States on September 11, 2001, and crashed or crashed into a building. US officials have announced that those crimes were committed by "Al Qaeda." Osama Bin Laden also issued a statement of crime and was slain by the United States. But Mr. Fujita unravels the inconsistent field verification of United states and suspects this is a national conspiracy to protect the US munitions industry while using al-Qaeda.

He emphasized the importance of having our own judgment through high- quality information such as publications, rather than swallowing media information, citing various incidents as examples. His interesting story made us forget the time.

AKANE HANAMOTO





私と彼

杉浦真喜子(大阪なかのしまクラブ)

「私と彼」の「彼」は、勿論私の連れ合い「山田孝彦」。私が初めて彼に会ったのは、故鈴木謙介さんに誘われセンテニアルの例会に出席した1985年の秋。その時彼は第3代目の会長だった。その後、センテニアルに入会した私。でも熱心にワイズ活動をする彼も含めたクラブメンバーの方々を冷めた目で見ていた。例会だけは可能な限り出席し、毎回車で行っていたので、神戸方面へ鈴木さんご夫妻や彼を乗せて帰ることが多かった。

1988年に先妻道子さんを亡くされた彼は、私の属する岡本教会で洗礼を受けられたりして、それまでより少し親しくお付き合いするようになった。さらに数年、クラブのBF担当になって、使用済み切手の処理に困っていた私に、彼が声をかけてくれた。「一緒に整理手伝ってあげるから切手全部持っておいで」と。車に1年分貯まった使用済み切手の大袋とハサミを積み込んで初めて彼の家に。その後時々食事を一緒にしたり、彼の家を訪問するようになった私に、ある日彼が「結婚せえへん?」と。本当にびっくり。40数年間仕事大好き、今更結婚なんて・・・と思っていた私は「家事なんてできないし・・・」と。それに対し彼の答えは「でも食事のレパートリー2、3はあるやろ?僕かて2、3ある。1週間なんとか食べられる。週末は外に食べに行ったらいいやん!」。それになぜかすごく納得してしまった私は、つい「うん!」と。それから約30年、彼と共に歩んでいる私である。

瀬戸内海の小さな島の大きな挑戦

グローバル時代の新しい高等教育

瀬戸内グローバルアカデミー代表 長尾 ひろみ

私は、2011年3月の東北大震災の年から、中央教育審議会委員を2期務め、日本の教育の裏表を垣間見ることが出来ました。震災の後、文部科学省は、教育標語を「予測困難な時代を生きる力」から「予測不可能な時代に生き抜く力」と変えました。親も国も次の時代を担う若者に対して「どうしたら良い」など答えを出せない時代になってしまいました。

相変わらず暗記型の入試対策教育では、若者に自分から解答を考へ出す力が無くなるのではないかと危惧して、中教審では2020年からは「正解を選択するセンター試験」はやめようという結論を出したのです。当時広島女学院大学の学長をしていた私は、YMCAの青少年教育手法、つまりキリストの教えに基づいた全人的教育を具現化しようと思いました。

そこで2020年4月から、小さな志塾(瀬戸内グローバルアカデミー)を瀬戸内海の島にある離島(大崎上島)で始めました。ホームページを覗いてください。

<https://sga.aust.jp>

世界に出てみたい

ゆっくりと
生き方を考えたい

問題解決の
手法を学びたい

地球

あなたには
何ができますか?

未来



保険の ちょっと いい話



自動車保険は、運転者限定、年齢により補償の範囲を限定し安くできる。その中でも全年齢、21歳以上、26歳以上、30歳以上などが多く、年齢が高くなるほど保険料は安くなる。同居の一番若い人の設定が条件。でも別居の子どもがたまに実家に帰省し運転する場合は、この条件に含めなくても良い。50歳の夫婦と別居の21歳・未婚の息子がいる家庭の場合、年齢条件は21歳以上でなく、30歳以上でも良い。一度保険の内容をチェックしてみては?



武田 善博

後記

桜も満開。いつの間にか春が突然訪れたような気がします。

●杉浦さんと山田さんの馴れ初めで、食事のレパートリー云々というところでは、とても微笑ましく、山田さんらしさを感じました。

●藤田さんの卓話をお聞きし、司馬遼太郎が、戦時中、戦車隊にいた頃、敵が本土に上陸したら、市民を踏みつけても国を守れという上官の言葉に疑問をもち、国は国民を守らないと悟ったということ思い出しました。ミャンマーも同じ状況です。

コロナの4波が来ているとのことですが、国の内外騒々しいですが、桜の美しさに心が癒やされます。

Shige

Going
Global

「信教の自由について」—日本、フランスの事例 国により異なる概念を追って

谷川 寛

先月号で日本の「政教分離」の概念が、アメリカという国とは全く異なることに触れました。アメリカはいわば「宗教国家」といえます。この関連で、2月25日の日経新聞の記事が目につきました。

沖縄・那覇市の儒教の祖・孔子をまつる「孔子廟」のために、那覇市が土地を無償で使わせているのは憲法の「政教分離の原則」に反するかどうかの裁判の結果を報じていました。訴訟の上告審の判決で、最高裁は使用料免除をしているのは憲法20条が禁じている自治体の「宗教活動」に当たるとして違憲の判断を示しました。那覇市は、これまで歴史・文化を伝える「体験学習施設」に該当するとして土地の使用料を免除してきました。同市はこれからどう対応するのか注目しています。

日本は終戦まで神道が国と密接に結びついた国家神道でした。これが軍国主義を支えたという反省から戦後の現行憲法には、この「政教分離の原則」が盛り込まれました。しかし、過去の判例からは完全な政教分離が難しく、関与が限定を超える場合は、違憲と判断されてきました。現在は、日本をはじめ他の多くの先進国は、政治と宗教を分離する考え方が一般的です。それはどの国も、過去の苦い経験から導きだされた結論でした。

フランスの事例も大変興味があります。フランスは、政治とカトリックが密接に結びつき不可分の関係にあった歴史が永く続きました。歴史上、カトリックの坊さんの給与までも国が払っていた時代がありました。1905年にライシテ法が成立しました。ライシテ（仏、Laïcité）とは、フランスにおける教会と国家の分離を定めた法律です。これによって国家の中立性、無宗教性および個人の信教の自由の保障をあらわしました。ライシテは、強大な力をもったカトリック教会の影響から政治を切り離すためのもので、それは非宗教性または世俗化を意味しました。同国では長い間の宗教対立から戦争を繰り返した歴史を踏まえ、今日では「公」と「私」を厳格に峻別しています。その結果、今日では国家の領域に信仰が入ることを一切認めません。日本の憲法も、20条で信教の自由と政教の分離を定めています。この点では日本もライシテ体制の国と言えます。しかし、社会における宗教への関心度は、両国で全く異なります。フランスでは、どの時代もライシテを巡る論争が絶えずありました。すべて国家権力対カトリック教会の対決でした。

それだけ長い間、カトリック教会の力が大きかった証左です。

現在のフランスでは、カトリック信者の数が大幅に減少しており、

カトリックの衰退は目に余るものがあります。代わってイスラムが台頭し、イスラムの包摂が焦点になっています。フランスは欧州最大のイスラム教社会を包摂しています。同教徒の人口が大きく増えたのは第二次大戦後です。経済成長を支える労働力として、かつての植民地であった北アフリカなどから移民呼び寄せ、70年代にはその家族がフランスに来ることも許しました。その結果、2016年時点での同教徒の人口は、仏全体の9%に当たる570万人にのぼるとの推計があります。2020年は仏社会とイスラム教との不協和音を取りざたされた年でした。きっかけは、9月、風刺週刊誌シャルリエブドがイスラム教の預言者ムハンマドの風刺画掲載したことです。マクロン大統領が「フランスでは宗教も冒瀆することができる」と擁護したこと、仏社会のイスラム教徒から批判の声が上がりました。状況を深刻にしたのは相次ぐテロでした。

ライシテ法は本来、強大なカトリック教会の影響を政治から切り離す目的でうまれたものでした。それが次第にイスラム教の価値観を抑え込むために使われるようになりました。公の場所で宗教色を出すべきでないとの解釈に変わりました。例えば、2011年にはイスラムの女性が全身を覆う同教の衣装「ブルカ」の着用することを禁止しました。聞いた話ですが日本の女性観光客がノートルダム寺院を訪問の際、大きな十字架のペンダントをブル下げていたら、服の中に隠すよう指示されたそうです。このように現在にいたるまで、ライシテや、表現の自由などを巡り、軋轢が続いています。マクロン大統領は、2017年就任以来、イスラム教との追突を生むような政策を控えてきました。だが、保守派から弱腰だなどの批判がもちあがり、イスラム過激思想を取り締まる法案などの対策に乗り出しています。

マクロン政権の対応への批判は、国外にも飛び火しています。国民の9割がイスラム教徒のインドネシアでは、昨年11月2日、首都ジャカルタのフランス大使館前でマクロン氏に抗議する大規模デモが起きています。仏製品の不買運動も盛り上がりました。批判はトルコにまで広がりました。エルドラン大統領の政権下にあるトルコメディアは昨年連日のようにイスラム教徒への差別問題を取り上げており、国民の反仏感情は高まりました。仏・トルコ関係の悪化が懸念されています。

このように信教の自由をめぐる対立や分断は、簡単には解決の鍵がみつからず、今後も続きそうです。

緊急事態

ミャンマーの情勢 中村 隆幸

ミャンマーの国軍がクーデターを起こして1か月半になります。クーデターを起こす理由は、はっきり言って彼らが現在有している権利、権限を守るためだけです。国民のことは全く考えていません。

昨日(3月16日)までに、国軍の発砲により亡くなった人たちは200人以上に上ります。妊娠中の女性、子供、年寄りを無差別に、銃で撃っています。マンダレーでも、20人以上の人が亡くなっています。特に夜間に突然、家に来て連れて行ったり、発砲するようです。軍や警察、そして軍に関係している人たちが、お金(日本円で4,000円ぐらい)で人を雇い、スパイのようにデモ隊に紛れ込ませて、情報収集や治安部隊をあおる役目をしているようです。

ヤンゴンでは、一部の地域に戒厳令が出され、その地域の人たちの中には、別の地域に移動、非難する人が出てきています。戒厳令により、今まで警察が取り締まっていたことまで、国軍ができるようになり、一段と激しい暴力行為や発砲行為が可能になったようです。

マンダレーでは、私の知人の医師からのメールでは、彼もNLDの関係なので、身の安全に非常に注意を払っているということです。特に夜間は、家とは別の場所で寝ていると言っていました。彼と一緒に無料診療所の運営にかかわっている人たちも、田舎の方へ避難し、隠れているとのことでした。国軍は、NLD関係の人たちに対して、憎悪を持っているようです。

今日、マンダレーの友人からの報告では、Hito Centerの近くの王宮に駐屯している国軍が、銃を発砲しながら王宮のまわりを回っているとのことでした。それでも市内では、デモを行っているとのことでした。マンダレーもいずれ戒厳令が敷かれるかもしれません。

2021.3.17



ニコニコ メッセージ

NIKO NIKO MESSAGE

【ゲスト】

●新入会員ご入会おめでとうございます。

(中西部EMC主査/茨木・清水 真一)

●感謝を込めて(巽 義治)

●ありがとうございました。(巽 光子)

【会 員】

●藤井さん、御入会、おめでとうございます。これからワイズ活動を共に楽しんでいきましょう。よろしく申し上げます。(石津 雅人)

●久しぶりの例会参加です。コロナにより、大きく世の中が変わりました。メディアは本当に真実を伝えているのだろうか。利害のないY'sメンクラブの良さを改めて認識した例会でした。(坂本 哲朗)

●本日、藤井さんの入会、大変うれしいです。芝田さんと共にセンテニアルバンドのご指導よろしく申し上げます。(坂本 千春)

●藤田様、大変興味深い卓話を吸い込まれるように拝聴しました。一般ニュースでは、またマスコミでは真実が伝えられません。“しがらみ”が蔓延しています。最近はYOUTUBEを利用して、自分で判断するようになりました。藤井さん、入会誠におめでとうございます。余生をお互いワイズライフで楽しみましょう。(芝田 光雄)

●藤田さんのお話、一昔の話ですが、調べると、いろんなミステリーが出てくるのですね。興味ある話でした。

(谷川 寛)

●藤井さん、新入会おめでとうございます。ご活躍を期待しています。(中村 隆幸)

●さまざまな事件も、多面的な見方が大切ですね。藤田さんありがとうございました。また、藤井さん、今後ともよろしく申し上げます。(中村 茂高)

●大変興味深い話でした。日航機のお話は初めて驚きです。今後ともよろしく申し上げます。(藤井 孝三)

●藤田昭彦さんの話は興味深いものでした。特に日航機の話は聴いたことがなかったです。(藤田 保)

●知らない事実があって驚きです。本もぜひ読んでみたいと思います。(隅田 恵子)

●藤井さん、ご入会おめでとうございます。今日はたくさんの興味深い話を聞くことが出来ました。とても参考になりました。(何 早林)

●久しぶりの例会。雑務で例会に出そびれています。私にとって大阪の成長と発展は何よりも大事。大阪と平和の維持を祈念します。(松浦 孝次)

●今日は沢山の人たちにお会い出来、本当に嬉しいでした。桜ももうすぐ、よい季節になりました。藤井さんの入会おめでとうございます。藤田さんのお話、大変興味深く聞かせて戴きました。(松浦 和子)